

令和2年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第3日目

1 招集年月日 令和2年9月10日

1 招集場所 勝浦町役場大会議室

1 開閉日時及び宣告

開議 9月10日 午前9時2分 議長 美馬友子

散会 9月10日 午後2時40分 議長 美馬友子

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	花房勝一	2番	相原喜久男
3番	瀬戸直一	4番	仙才守
5番	美馬友子	6番	麻植秀樹
7番	松田貴志	8番	籾公一
9番	国清一治	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	山田徹
教育長	市川公雄	政策監	大久保彰
建設課長	海川好史	上下水道課長	大上誉司
勝浦病院事務局長	笠木義弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第3号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 認定第1号 令和元年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第2まで（第3号）

1 会議の経過

別紙のとおり



午前9時02分 開議

○議長（美馬友子君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから令和2年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 日程第1，諸般の報告を議題といたします。

法第121条第1項の規定により、説明者として出席を求めたのは野上町長，山田副町長，大久保政策監，関係各課長でございます。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 次に、日程第2，認定第1号，令和元年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

初めに、勝浦病院関連の詳細説明を求めます。

笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 病院事業の説明をさせていただきます。

まず、一般会計がございますので、一般会計のほうからさせていただきます。

令和元年度の主要事項説明書で説明させていただきます。

まず、2-2-1企画費でございます。こちらにつきましては、改築事業の改築支援員の賃金でございます、15万2,725円ということになっております。

それから、繰越明許がございます。こちらにつきましては、勝浦病院の新しい病院の事業認定策定業務の委託費でございます。決算額で820万8,000円でございます。

一般会計については以上でございます。

続きまして、病院事業の特別会計の決算状況についてでございます。

令和元年度業務の実績について説明をさせていただきます。

最初に、外来患者数でございます。

内科が1万2,063人、こちら前年度より299人の減少でございます。外科が5,504人で前年度より134人の増加、整形外科が913人で263人の減少、リハビリ科が2,038人で364人の減少、小児科が52人で35人の減少。外来患者の1日当たりの人数は85.7人でありました。通所リハのコスモスの利用者が3,139人で50人の減少、訪問リハ利用者

は307人で61人の増加。訪問リハにつきましては、人数が少ないので1人当たりあるかないかというので非常に大きな変動があるということでございます。リハビリの合計は3,446人で11人の微増となっております。外来患者全体では2万4,016人で816人の減少でございました。

次に、年間の入院患者数でございます。

内科が1万803人、こちらが1,038人の増、外科が2,867人で前年度より593人の増、整形、小児科はございません。全体で1万3,670人となり、前年度比較では1,631人の増となっております。病床利用率が62.2%、1日当たりの患者数は37.3人でありました。

こちらに、患者数の推移を平成21年度から示させていただいております。外来、介護ですね。こちらが入院患者の推移でございます。

続きまして、決算状況について説明をいたします。

まず、収益的収支でございます。

決算書を見られる方がございましたら、4ページ目に損益計算書、9ページ目に業務報告、12ページ目に収益費用明細書関係が載せてございます。

こちらのほうで説明させていただきます。令和元年度の医業収益は5億1,300万6,704円で前年度比109.7%でございました。外来患者につきましては減少傾向が続いておりますが、入院患者数が増加し、こちらが大きく影響して収益の増となっております。介護収益につきましては、平成29年度後半からデイサービスの利用者が減少し始め、令和元年度も僅かに減少しております。ただ、訪問者が増えたため、収益については微増となっております。その他の医業収益については、入院患者の増に伴う個室料などの増もありまして、入院収益に近い増加率となっております。この医業収益の内訳であります。入院収益が3億1,486万1,649円、こちらが前年度比では116.6%の増、外来収益が1億3,487万465円、こちらは前年度比では96.9%、介護収益が2,911万9,847円で前年度比で100.2%、その他の医業収益は、健診、文書、それから使用料、公衆衛生活動料——こちら予防接種などの収益でございますが、3,415万4,743円で前年度比で115.1%でありました。

次に、医業外収益ですが、内訳は、預金利息、他会計負担金、国や県からの補助金、また患者外給食の収入、それから雑入などが含まれております。こちらは、決算

額が1億5,719万9,192円で前年度比では89.4%となっております。この減少につきましては、一般会計からの繰入金で2,455万1,000円減少したことが大きな要因でありまして、繰入金を除く収益につきましては596万6,105円の増となっております。

特別利益は4,675円でした。こちらは、施設基準における理学療法士の育児休業に伴う診療報酬単価の変更等による過年度修正損を平成28年に計上しておったんですけれども、利用者に返還をしましてまいりましたが、死亡等によりまして返金できなかった額がございます。そちらについて特別利益として計上させていただいております。

医業収益と医業外収益を合計した病院事業収益は6億7,021万571円で前年度比104.1%となり、2,657万5,897円の増収でありました。

次に、費用について説明させていただきます。

医業費用が6億3,248万4,831円で前年度比101.7%。こちらの内訳ですが、給与費が4億5,743万6,308円、前年度比では99.4%、材料費が5,062万5,699円で前年度比が93.2%、経費が9,974万4,633円で前年度比が121%、減価償却費が2,188万9,943円で91.3%、資産減耗費が184万7,562円、研究研修費が94万686円で、こちらが168.4%であります。これ大きい増ですけれども、当年度、がんリハ等の研修出張等がありましたので、その分が増となっております。

医業外費用につきましては、1,583万3,541円で前年度比で80.8%でありました。内訳としましては、起債の支払利息が150万2,360円、その他の医業費用は、患者外給食材料費、雑損失などで1,433万1,181円でした。

単年度収支としましては、不採算地区病院繰入れとしまして8,788万1,192円を頂きまして2,189万2,199円の黒字となっております。

次の(2)の表では、主な経営比率につきまして記載をさせていただきます。

次に、資本的収支の状況の説明をさせていただきます。

すいません、こちらは医業収益、医業費等のグラフを表させていただいております。

資本的収支の状況でございます。

資本的収入が支出に不足する額、収支差額205万361円のうち、消費税分は収益的支出の雑損失で負担してございますけれども、こちらにつきましては、予算書記載のとおり、損益勘定留保資金で補填をさせていただいております。収入額が1,500万

1,294円でございます。内訳は、補助金が244万4,000円、他会計負担金が1,025万7,294円、企業債が230万円となっております。支出額は1,705万1,655円、内訳は、建設改良費936万9,936円と企業債償還金768万1,719円となっております。

(4)番で繰入金の推移としまして、平成27年度から推移を記載させていただいております。

こちらが資本的収支の内容でございます。こちらについては税込みで記載をさせていただいております。

国県支出金の内訳ですけれども、全て機器の購入費で、国保調整交付金となっております。こちらが244万4,000円でございます。他会計負担金として、一般会計から企業債元金として711万6,826円、通常予算で機器等購入費としまして252万5,468円、建築関連の費用としまして61万5,000円の計1,025万7,294円を繰入れいただいております。企業債は230万円、これ機器の購入費用でございます。

次に、支出ですが、建設改良費で936万9,936円、企業債償還金の元金が768万1,719円となっております。建設改良費の内容につきましては、建設改良に係る経費で、建築確認申請手数料としまして157万5,000円、医療機器につきましては以下のとおりでございます。

以上で令和元年度の決算状況についての説明とさせていただきます。

それと、病院としての分析でございますけれども、繰入金、前年度比較で2,455万1,000円の内訳ですけれども、入院収益の増が約4,490万円と大きく伸びております。全ての収益をこちらの入院収益が牽引してると言ってもいいと思います。これにつきましては、地域連携室の設置、それから医療事務専門職員の雇用もあります。他病院との連携、それから地域包括ケア病床の有効利用など収益増につながっているものと考えております。

費用については、一昨年途中から給食業務の外部委託を行いまして、給与費、材料費について抑えられておる。ただ、委託費として経費は増となっているということでございます。支出につきましては、委託等によりまして若干抑えられまして、繰入金の減につながっているものと考えております。ただ、新型コロナウイルスの影響が前年度——この決算年度の最終1,2,3月あたりから出ております。外来、入院とも年度末には減少傾向が出ておりまして、患者減が現在も続いております。

す。もう少し来れなかったらよかったのかなというふうに考えております。

説明については以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（美馬友子君） 以上で勝浦病院関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩いたします。

午前9時12分 休憩

午前10時09分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

上下水道課関連の詳細説明を求めます。

大上上下水道課課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 上下水道課の決算につきまして、決算主要事項説明書と決算認定書により説明させていただきます。

水道関係で、一般会計上下水道課決算書から説明させていただきます。

4款1項4目環境総務費、28－2簡易水道事業特別会計繰出金5,072万7,870円、内訳は、簡易水道特別会計で説明させていただきます。

続きまして、191－473小規模飲料水供給施設等整備費補助金11万円、簡易水道未普及地域の水道施設整備事業費の3分の1を補助しており、馬越水道組合のポンプ施設の更新工事に対する補助金でございます。

続きまして、簡易水道事業特別会計について説明させていただきます。

歳入関係、主な事業収入及び一般会計繰入金につきまして説明させていただきます。

使用料及び手数料、現年度分と過年度分を合わせまして5,479万720円の収入がございました。

引き続きまして、新規加入金14件、166万1,852円でございます。沼江地区で石原のヒビキ集合住宅で9軒、それと沼江の分譲地で3軒の加入と、あと星谷と川北のほうで1軒ずつ加入がございました。

続きまして、一般会計繰入金で5,072万7,870円。内訳といたしましては、一般管理費411万3,508円、水質管理費935万5,526円、公債費元金償還分869万4,106円、公債費利子償還分300万6,000円、建設改良工事、単独経費といたしまして、棚野久国、中山横瀬、中角で事業を実施しておりますので245万8,730円、過疎債2,310万円ござい

ます。

続きまして、簡易水道事業特別会計の主要事項説明書によりまして、歳出関係100万円以上の支出について説明をさせていただきます。

2 ページになります。

1 款 1 項 1 目一般管理費5,848万8,537円の内訳について説明させていただきます。

11-6 光熱水費397万5,293円、簡易水道施設電気使用料でございます。11-7 修繕費199万8,801円、中横横瀬下水処理場南修繕ほか28件でございます。詳細につきましては、資料の3 ページから4 ページにかけて掲示してございます。29件で合計金額が119万8,801円になります。続きまして、5 ページで説明させていただきます。13の2 施設管理委託料957万6,318円、勝浦町簡易水道施設指定管理委託料でございます。10地区11施設の管理委託料でございます。続きまして、13-3 測量設計委託料でございます345万6,000円、平成31年度沼江掛谷地区沼江バイパス工事に伴う配水管移設実施設計業務でございます。続きまして、13-509山田地区未普及地域解消基本計画策定業務627万円でございます。平成31年度の山田地区未普及地域解消基本計画を策定しております。続きまして、15-1 工事請負費1,786万170円、棚野久国地区配水管布設工事ほか16件でございます。画面の右側に工事一覧を掲載してございます。17件で1,786万170円でございます。続きまして、説明書の2 ページで、下段になります27-3 消費税112万3,300円でございます。

一般管理費は以上でございます。

次に、事業番号61001水質管理事業935万5,526円、水質検査や毎日検査及び塩素滅菌等の事業費用でございます。

13-13水質検査業務委託料474万9,680円、法定水質検査費用でございます。徳島薬剤師会に委託しております。13-508水質管理補助業務委託料でございます290万7,650円、勝浦町水質管理業務の補助で、シルバー人材センターに委託しております。

続きまして、1 款 2 項 4 目の棚野久国地区建設費です。13-6 設計等委託料96万4,700円、令和元年度棚野久国水道配水池改修工事に伴う補償調査業務でございます。

ページを替えまして、1 款 2 項 6 目中山横瀬地区建設費でございます。15-1 工事



請負費659万1,200円、中山横瀬地区古川区域配水管布設替え工事でございます。

続きまして、1款2項7目中角地区建設費、15-1工事請負費6,158万1,300円、中角地区連絡管整備工事でございます。

続きまして、2款1項1目元金、23-1元金償還金1,738万8,211円でございます。

次に、2款1項2目の利子で、23-2利子償還金で582万121円でございます。

資料のほうで、6ページに一般管理費の財源内訳、7ページに棚野久国地区建設費の事業内訳、8ページに中山横瀬地区の財源内訳、10ページに中角地区の財源内訳になります。それで、10ページが公債費の元金償還分と11ページが利子分の資料となります。

続きまして、下水関係について説明させていただきます。

一般会計の上下水道課の主要事項説明書で下水関係を説明させていただきます。

4款2項2目し尿処理費で、19-225小松島市外三町村衛生組合負担金3,289万2,100円です。内訳といたしましては、衛生組合負担金が2,962万1,000円とし尿投棄負担金327万1,100円でございます。

続きまして、4款2項5目合併浄化槽推進費521万6,100円でございます。19-227合併浄化槽設置整備事業補助金520万9,000円です。これは事業実施した10件の補助金でございます。

続きまして、農業集落排水事業の説明をさせていただきます。

5款1項14目農業集落排水事業費で、28-4農業集落排水事業特別会計繰出金2,692万5,728円の内訳は、農業集落排水事業特別会計のほうで説明させていただきます。

収入関係で、主な事業収入及び一般会計繰入金につきまして説明させていただきます。

使用料及び手数料につきましては、現年度分使用料で821万2,856円、過年度分の使用料といたしまして2万8,340円、合計で824万1,196円でございます。

続きまして、新規加入金でございますが、令和元年度はございませんでした。

一般会計繰入金は2,692万5,728円でございます。内訳といたしましては、施設管理費1,206万2,000円、公債費元金償還分1,193万8,482円、公債費利子償還分292万5,246円でございます。

続きまして、農業集落排水事業の主要事項説明書によりまして、歳出関係100万円以上の支出について説明させていただきます。

1款1項1目で、事業番号32000農業集落排水事業施設管理費で11-6光熱水費361万6,938円、農業集落排水施設の電気、水道料でございます。11-7修繕費143万1,450円、横瀬地区処理場シーケンサー取替え修繕ほか15件でございます。詳細は資料の3ページで、16件143万1,450円の修繕を行っております。続きまして、12-4手数料278万6,107円、集排施設汚泥抜き取り手数料と金融機関振替手数料でございます。続きまして、13-261処理場維持管理委託料261万6,000円、集排施設の維持管理業務委託でございます。毎日衛生に委託しております。続きまして、13-457業務委託料587万6,200円でございます。集排施設の保守点検業務の費用でございます。委託業務の内容の一覧としては次のようになります。資料4ページに一覧を掲載させていただいております。

続きまして、説明書に戻りまして、下段になりますが、2款1項1目、23-1元金償還金といたしまして1,193万8,482円、続きまして、2款1項2目の23-2利子償還金292万5,246円でございます。詳細につきましては、資料の5ページに農業集落排水施設の管理費の状況を掲載しておりまして、6ページに元金償還金、7ページに利子償還金の財源内訳について掲載をしております。

上下水道課の説明は以上でございます。

○議長（美馬友子君） 以上で上下水道課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたします。

午前10時36分 休憩

午前11時14分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

建設課関連の詳細説明を求めます。

海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） それでは、令和元年度の決算の建設課の詳細説明をさせていただきます。

まず、2款1項5目特定目的基金費でございますが、星谷橋架け替え事業基金積立金ということで6,000万円の決算額でございます。

続きまして、5-1-11広域農道整備事業費でございます。決算額といたしましては761万1,600円でございます。主要な経費といたしましては、中段の広域農道負担金750万円でございます。この決算額に対しまして、右端でございますが、過疎債——過疎対策事業債ハード事業、総額で1億3,520万円となっておりますが、そのうちの750万円分全額が過疎債が充当されておるということでございます。

続きまして、5-1-12の農免農道整備事業費でございますが、868万6,000円総額決算額でございます。主要な金額といたしましては、同様に負担金860万円でございます。この860万円につきましても、同様に過疎対策事業債860万円全額が充当されておるということでございます。

続きまして、5-1-17です。農業基盤整備促進事業費364万3,707円でございます。この事業につきましても、下段のため池調査委託料につきましても、全額が繰越事業となっております。

その下段でございますが、農業水路等長寿命化・防災減災事業といたしまして、機能保全計画策定委託料として363万円を保全計画委託業務として支出を決算額として計上しております。これにつきましては、沼江用水を改修するための保全計画の策定業務ということでございます。なお、これにつきましては、右上になりますけれども、363万円全額、国補助金が充当されとるということでございます。

続きまして、5-2-5の県単林道事業費、決算額596万740円でございます。これについては、工事請負費で450万240円、これにつきましては、県単林道事業として立川相生線の舗装工事を実施した工事費の決算額ということとなっております。なお、ちょっと戻りますが、右下の欄に書いてありますように180万円、これが県補助金として45%分の180万円が充当されておるということでございます。

続きまして、7-1-1です。土木総務費でございますが、716万5,518円ということでございます。充当財源といたしましては、占用料等の2万5,000円、13件分の2万5,000円を占用料として充当しております。

主な支出といたしましては、臨時賃金、これについては会計年度任用職員と今となっておりますが、267万2,845円ということで、建設業務支援員1名の賃金ということでございます。

続きまして、7-2-1の道路橋りょう維持費でございます。決算額といたしまし

て3,592万3,101円でございます。

主立った経費といたしまして、賃金ということでございますが、244万5,213円、これについては、町道維持管理等の軽作業員の賃金ということでございます。それから、業務委託料の381万9,960円、これにつきましては、町道の土砂撤去業務でございますとか測量設計等の経費ということで20件の支出をまとめたものでございます。この内訳につきましては、別紙資料を後でご覧いただければというふうに考えております。続きまして、工事請負費で2,578万4,690円ということで、これについては、町道の維持補修工事費ということでございます。これについても、別紙資料で一覧を設けております。60件の合計になっております。

続きまして、7-2-2の町単道路改良費、総額で1,708万2,621円ということでございます。

主要な支出につきましては、工事請負費1,588万6,580円でございます。これは町道の改良事業なり舗装工事費というようなところでございます。これについても一覧表を設けております。10件をまとめたものでございます。

続きまして、7-2-3で県単道路改良費、決算額としては424万2,176円ということでございます。なお、この事業につきましては、隣の欄で936万824円となっておりますが、ほぼ全額、端数100円単位については切り捨てておりますけれども、全額が繰越しされておるということでございます。

年度内決算として主なものとしては、工事請負費の169万1,280円ということでございます。これについては、沼江バイパス関連の排水路取り合い工事ということでございます。それから、県道維持補修及び改良事業負担金191万2,500円、これについては県営事業の負担金でございます。

続きまして、7-2-4でございます。道路改良費でございます。総額で7,871万3,824円でございます。その隣でございますが、6,131万3,176円となっておりますが、ほぼ全額が繰越しをしておるということでございます。

主な経費でございますが、設計監理委託料2,249万5,000円、これについては、橋梁の点検業務、約60橋の点検業務の経費と長寿命化修繕計画というような経費でございます。続きまして、工事請負費でございますが、4,880万2,800円でございます。これについては、棚野八石線改良工事ほか立川中央橋の補修工事など4件の合計額という

こととなっております。

それから、用地購入費でございますが、628万6,000円ということで、これも病院八石線関係の土地購入費ということでございます。

財源でございますが、右下でございますけれども、社会資本整備総合交付金4,617万3,000円が交付金として充当しておるといふことと、その下の過疎対策事業債でございますが、総額でこれ全体の額になっておりますが、総額で社会資本については2,130万円が充当されておるといふことでございます。

続きまして、7-3-1です。河川維持費でございます。決算額としては895万8,347円ということで、主な経費としては、賃金ということで451万3,400円ということで、これについては、河川管理費でございますので、河川草刈り等の軽作業員経費ということでございます。続きまして、業務委託料284万5,800円でございますが、これについては、町管理河川等の土砂のしゅんせつ業務ということでございます。4件の合計ということで別の資料がございます。

続きまして、7-3-3でございます。急傾斜地崩壊対策事業費ということで250万円、これについては、県営急傾斜地崩壊対策事業費の負担金ということでございます。250万円、県営事業としての10%を負担金として支出したということでございます。

続きまして、7-4-2一般住宅費でございます。総額で1,745万3,866円でございます。これにつきましては、住宅費につきましては、木造住宅耐震事業費、そのうちで751万9,156円という決算でございます。

主要なところでは、木造住宅耐震改修補助金600万円でございます。これについては5件分、右にも書いておりますが、5件分の耐震改修補助金ということでございます。

続きまして、住宅費の中でございますが、老朽危険空き家除却支援事業ということで、決算額993万4,710円でございます。この内訳といたしまして、空家等対策計画業務委託料と調査業務ということでございまして、決算額として596万円、これは右にも書いてありますが、調査業務として396万円、計画策定業務として200万円の決算ということとなっております。それから、老朽危険空き家・空き建築物除却補助金として316万1,000円の決算額となっております。これについては、老朽空き家の除却支援

補助金として4件分でございます。

これらの財源につきましては、ちょっと分かりにくいんですが、それぞれ木造住宅耐震事業補助金が324万8,000円ということと、この下から3つ目の段のところに県の補助金として186万5,000円が耐震の財源となっておるということと、それから、上から2番目の158万円、これについては老朽空き家の支援の国庫補助金ということと、下から2番目になりますけれども、同じく79万円を県補助金として充当しておるということでございます。それから、上から3段目でございますが、空き家再生等推進事業国庫補助金、これについては、空き家調査なりの委託料に対する財源ということで国庫補助金が198万円充当しておるということでございます。それから、上から4段目34万6,000円と一番下の16万6,000円、これについては、危険ブロック塀に関する補助金で、国が34万6,000円、県が16万6,000円といった内訳の財源として充当されておるということでございます。

続きまして、10-1-1でございます。町単公共土木施設災害復旧費ということで、決算額として81万9,620円ということで、288万380円でございます。これについては全額繰越しして、今、事業執行をしておるということでございます。ほぼ完了をしております。主立った経費としては、工事請負費ということで70万9,620ということでございます。

続いて、10-1-2の公共土木施設災害復旧費ということで、決算額4,114万4,573円ということで、これについても、右隣で2,616万3,427円については、端数調整はございますが、全額繰越しをしておるということで、主立った決算額としては、測量設計委託費の894万9,600円が測量設計委託料ということでございます。工事請負費については3,183万9,200円ということでございます。これについては、全体の災害の件数としては12件の災害があったということでございます。ほんで繰越しして、工事についてはほぼ完了しておるといった状況です。そのうち、財源としてですけれども、国庫負担金として2,123万6,000円が災害の国庫負担金として充当されており、現年の公共土木債として1,030万円が充当されておるということでございます。

続きまして、10-2-1です。農業施設災害復旧費でございます。1,934万8,670円の決算額ということで、右隣にございますが、1,441万330円となっておりますけれども、端数を飛ばした形での全額繰越しということとなっております。

年度内の決算としては、測量設計委託料として790万9,000円が測量設計委託料ということでございます。それから、工事請負費として1,129万300円を支出しております。これについても、箇所別表で、土木災害も合わせてですけれども、詳細な部分については別紙資料に箇所別表として記載をしております。耕地災害のほうの財源としては、過年災分も含めて1,377万7,000円ということが財源としてなっておるということでございます。

これで説明を終わります。

続いて繰越しのほうを説明させていただいてよろしいですか。

繰越明許費の説明をさせていただきます。

7-2-2の町単道路改良費ということで、決算額996万6,000円ということでございます。これにつきましては全額工事請負費ということで、棚野立川線改良工事の合わせて2件の決算ということでございます。

それから、7-2-3県単道路改良費ということで、決算額1,305万7,248円ということでございます。これについては、主な経費として、測量設計委託料として224万300円、沼江バイパス関連の残土の関係の委託料ということでございます。それから、工事請負費として231万円ということで、これについては、バイパス関連の天川谷川等の止水工事ということでございます。それから、公有財産購入費として757万2,545円でございますが、これについては、残土処理場等に必要な土地の購入費ということでございます。

それから、7-2-4道路改良費でございます。決算額として3,056万5,841円でございます。主な経費としては、設計監理委託料として511万5,960円、これについては、病院関係八石線の補償物件調査業務ということでございます。それから、工事請負費として610万8,300円、これについては、沼江橋谷谷川等の改良工事の決算ということでございます。それから、用地購入費として1,722万8,300円、これについては、棚野八石線関係の土地購入費でございます。それから、立木等補償費211万3,281円、これについては、棚野八石線関係にある物件の移転料補償ということでございます。財源については、社会資本整備総合交付金1,632万8,000円が当たっておるということで、過疎債については710万円が当たっておるということでございます。

それから、最後に10-2-1の農業施設災害復旧費ということで1,976万9,920円の

決算でございます。全額が工事請負費ということでございまして、棚野地区道路復旧工事4件の合計額という決算となっております。財源については、国補助金1,119万7,000円が充当されておるということでございます。

先ほど説明した中での工事一覧なりの資料については、この資料の中に掲載をしておりますので、お目通しをいただければというふうに考えております。

以上で建設課の詳細説明を終えたいと思います。

○議長（美馬友子君） 以上で建設課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたします。

午前11時38分 休憩

午後1時29分 再開

○議長（美馬友子君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会事務局関連の詳細説明を求めます。

松本議会事務局長。

○議会事務局長（松本博文君） 議会事務局関係の決算について、決算主要事項説明書により説明をさせていただきます。

資料の2ページでございます。

1-1-1 議会費、決算額4,765万7,953円、うち主要なものとしまして、1-1 議員報酬2,480万3,996円、これは議員の皆様の報酬でございます。3-7 期末手当761万7,761円、これも議員の皆様の期末手当でございます。4-2 議員共済会負担金900万6,000円、町村議会議員共済会に年間4回に分けて負担金を納付いたしております。9-1 普通旅費50万5,840円、これは10月8日から10日にかけて福井県と富山県に出張をいたしております。それと町村議会議長副議長研修会等の費用でございます。次に、13-10 筆耕翻訳委託料80万1,510円、議会音声データ反訳業務委託料でございます。次に、14-1 使用料91万7,712円、ペーパーレス会議システム運用保守業務等の費用でございます。

次に、2-7-1 監査委員費145万5,812円、うち主要なものとしまして、1-1 171町監査委員報酬60万円でございます。

議会事務局の説明は以上でございます。

○議長（美馬友子君） 以上で議会事務局関連の詳細説明は終了いたしました。



議事の都合により、休憩いたします。

午後 1 時 32 分 休憩

午後 2 時 00 分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、再開いたします。

出納室より決算書の修正の説明がありますので、説明を求めます。

長友会計管理者。

○会計管理者（長友清美君） それでは、国民健康保険特別会計の決算書の61ページ、歳入の事項別明細書をご覧ください。

1 款 1 項 1 目の一般被保険者国民健康保険税の 1 節から 3 節及び 5 節の収入済額、収入未済額について、各医療費の内訳に誤りがありました。内訳としまして、1 の医療費分が7,001万596円が6,999万2,392円に、収入未済額が182万4,535円が184万2,739円に、2 の後期高齢者分が2,088万8,092円が2,089万7,246円に、収入未済額54万9,574円が54万420円に、3 節、介護の分が927万4,163円が927万4,059円に、収入未済額36万6,937円が36万7,041円に、5 節、後期高齢の滞納分、収入済額52万3,075円が53万2,229円に、収入未済額107万5,481円が106万6,327円に変更されておりました。

年度末に科目振替作業をしたものがシステムに反映されていなかったことが原因と考えられます。9月8日に数字の誤りが判明いたしました。翌日、監査委員にもその旨報告をさせていただきました。当初説明しました歳入歳出総額に変更はありませんが、この時期に判明したことを反省しております。

今後の対策として、課内や各課との報告、連絡を密にし、確認を十分に行うようにいたします。すみませんでした。

○議長（美馬友子君） 以上で説明が終わりました。

何か質疑はありませんか。

国清議員。

○9番（国清一治君） 実は私、今日初めて聞いたんですけれども、これ9月8日やったら、町長の提案理由の説明したときやろ、開会日やろ。ほんだけん、9月8日の開会日だったら、まだ分かりよいんやけど、今日も、はっきり言うて最終日に、決算審査の小休中でやったんやけど、最終日になってやるっちゃうことに、僕が口火を切

とんやけんど、ちょっと。普通のこととして、中身は合うとる上での質問でいきよん話で、金額の多少にかかわらず。ほんだけん、僕らは町長に答弁してもらいたいんやけんど、町長はいつ知って——今日知ったんではないと思うんやけんど、同日の提案日やったら、まだ理解もしよいんやけんど、これもう最終になって、実は間違うとりましたって言うんは、皆、不信感というか、ちょっと持つとると思うんやな、金額の多少にかかわらず。決算ってそんなもんかっていうんは持つとると思うんやな。そこらは、きちっと説明したほうがええと思うで、もう町長のほうで。

○議長（美馬友子君） 野上町長。

開会中です。

（9番国清一治君「開会中、これ本会議」の声あり）

○町長（野上武典君） 実は、こういった問題があるっていうのは、私の提案の後、8日の日に、それも十分詳しくは説明を受けてはおりません。多分、出納閉鎖のときのタイミングの問題でなかったかなというふうには思います。

今、会計管理者のほうから申し上げた科目の中で入っていた収入を違う科目への収入とする、またその逆もあり得るというようなところからの間違いであったかと思えます。もちろん、私が申し上げた——総額は申し上げておりませんが、差額、黒字の状況、そういったものの数字の間違いはなかったかと考えております。

ただ、本当にケアレスミスというようなところだと思います。議員の皆様には大変申し訳なく思っておりますし、今後十分に気をつけて提案させていただきたいと思えます。

以上でございます。

○議長（美馬友子君） あと質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（美馬友子君） それでは、お諮りします。

ただいまの修正についてご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（美馬友子君） ありませんので、修正を承認いたします。

議事の都合により、休憩いたします。

午後2時15分 休憩

午後 2 時39分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

認定第 1 号、令和元年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを第二読会に付することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（美馬友子君） 異議なしと認めます。本件は第二読会に付することに決定いたしました。

以上で本日の日程は全て終了いたしましたので、これで散会いたします。

なお、明日 9 月11日午前 9 時30分から会議を再開いたします。

お疲れさまでございました。

午後 2 時40分 散会